

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	歴史学B		
英文授業科目名	History B		
開講年度	2005年度	開講年次	1、2年次
開講学期	2、4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	倉橋 良伸		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
受講生が多く、とても対応しきれないのでご容赦あれ。	

【主題および達成目標】
(a) 主題： 後期ローマ帝国と地中海世界 (b) 達成目標： ローマ帝国の崩壊とそれに伴う地中海世界の分裂のプロセスを検証する。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
歴史学A

【教科書等】
教科書は、歴史学研究会編『古代地中海世界の統一と変容』青木書店。その他、講義内容の理解に役立つと思われる参考図書を適宜紹介していく。これらは、自分の興味・関心に合わせて読めば良い。

電気通信大学 平成17年度シラバス

【授業内容とその進め方】

講義形式。教科書以外に毎回の講義内容をまとめたプリントを配付する。歴史学Aの続編であり、後期ローマ帝国史を題材として、やはり毎回、基本的には時系列に沿いながら、時代ごとに中心となるトピック（ゲルマン民族の大移動・西ローマ帝国の消滅など）を設定する。

紀元後1世紀から6世紀に行われたユスティニアヌス帝の再征服戦争までを扱う予定。ローマが、「3世紀の危機」を乗り越えて、どのように帝国を再建していくかを検証する。特に、帝国の中心が東方に移り、西地中海世界が帝国から自立していく状況に注目する。

ここでも細部に固執するのではなく、歴史のダイナミズムを観察することを主眼とする。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

論述形式の学期試験を実施する。その際には教科書や講義プリントなどの持ち込みを可とするが、前もって内容が理解できていないと、単位を取得するのは困難である。ともかく長々と年表のように歴史的事実を並べてみても、それは歴史学に関する論述ではない。

【オフィスアワー：授業相談】

授業時に

【学生へのメッセージ】

歴史学では、再検証不能な事象を扱うこととなりますので、その科学性（実証性）に関しては理系の学問を専攻する皆さんからは疑問が呈されるかもしれません。しかし、歴史学は単なる文献史料の解釈学ではなく、歴史的教訓を抽出することだけを目的とする学問というわけでもありません。当時の歴史的背景や文脈の中でその出来事の実体を理解しようとするものです。

とはいえ、難しいことを言おうとしているわけではありません。歴史学を専攻するわけではない皆さんは、歴史が現実にもどのように形成されていくかということを理解してもらえれば結構です。そして、歴史学における決定的データとなる史料がどんなものかも見てもらいましょう。なお、文献史料だけがデータの全てではありませんので、それらを少しでも紹介したいと思います。

自分とは無関係の単なる遠い昔の異国の出来事ではないことを知って下さい。歴史を学ぶことにより得られるセンスは、今を生きることを知るセンスでもあります。

「9・11同時多発テロ」や「イラク戦争」など、今この瞬間も次々に歴史的事件は起きています。人はすべて時代という大きな流れの中にいつも置かれているのです。歴史的存在としての自分を捉え返す契機として欲しいと思います。

【その他】